

「住み続けたい」「戻りたい」

そんな山口県を

県民ファースト×現場主義

で実現!



人口減少のピンチにあるのは、政治の中に女性や若者、働き盛りの世代が入っていないことが背景にあります。このような多様な人々が自由にアイデアを出せる土壌と、政策を実現する財源を整える。そして公共の資産や情報を積極的に開放し、県民と行政が力を合わせて社会をより良くする。そんな県民と共に歩む県政の実現が、このピンチを救うと考えています。

山口県の救世主は女性、若者、民間

私も高校卒業後に上京し、そのまま就職しました。しかし、母の病を機にUターン。夫と出会い、子どもに恵まれ、弁護士・県議会議員として働きしました。仕事と子育ての両立は大変です。でも地域に助けを求められる地元だったからこそ、子育てを楽しめる今があると実感しています。

実は私も、県外流出組でした

山口県の人口減少率は中国地方で最も高く、その中でも若者、特に女性の県外流出は全国でワースト9位。この10年間で、子育て世代の女性1/4が減少。このままでは経済、医療、福祉、教育など、暮らし全体に深刻な影響が広がります。

若い女性の1/4が県外に出ていく!

2児の母
43歳
弁護士
県議7年



(公式HP)

■ 知事として実現したい策

◎ 若者・女性の流出食い止め策



- Uターン者への奨学金支援
- 就職応援金の創設
- 日本一、Uターンしやすい制度の創設
- 再就職応援制度の創設

◎ 子ども・教育の課題解決

- 市町への子ども医療費助成
- 教育・児相へ人員配置強化
- 子ども・若者関連予算の倍増
- 高校再編基準の見直し
- 通学支援の拡充



◎ 医療・介護の充実策

- 地域に適した医療体制の確保
- 医師、医療介護従事者への支援



◎ 地域経済の活性化策



- 県内中小企業への支援優先
- 事業承継の支援
- 生産性向上の支援
- 物価高対策、価格転嫁の支援

◎ 農林水産業の支援策

- 農林水産業の所得向上支援
- 担い手確保の支援



■ 有近まちこのあゆみ

三姉妹の三女、山口市徳地に生まれ育つ。防府高校卒業後に上京。明治学院大学から弁護士事務所に就職する。26歳でUターン。貯えた学費で広島大学法科大学院に学び、そこで夫と出会う。夫婦で浪人して弁護士に。長女を出産した36歳で山口県議会議員に当選。日々奔走し現場の声を届け、県民ファーストの施策を提案・実現してきた。

【県議7年間の主な実績】

▼定員規模に応じた保育士の加配、保育補助者の配置▼産科・小児科体制の維持(研修体制、分娩手当等)▼県立高校の再編に対し、特色ある部活動等の継承等▼農業の中古機械等の導入経費の助成▼公共工事の再度の入札手続きの簡素化、他。

あり
ちか
有
近
ま
ち
こ

候補者氏名

有近 真知子

印